

1353

秘 第四四九號

叙位ノ儀内申

本縣下舊平戸藩士小關亨外三名ハ王政  
維新前後國事ニ奔走シ國家ニ對シ其  
ノ功勞尠ラサル者ニ有之候條特別ノ  
御詮議ヲ以テ此際叙位ノ義御上  
奏相成候様致度別紙履歷調書  
ヲ屬シ此段及内申候也

明治四十四年十月廿八日  
長崎縣知事 安藤謙介

内務大臣原 敬 殿

大正  
第一五三九

昌十  
三五

舊平戸藩士族

現存

小開 亨

同 楠本謙三郎

同 本澤五郎

同 成田辰雄

以上

旧平戸藩士族

現存 小関 亨

初與在藩門ト稱ス

一 元治元年壬子六月外患切迫シ各藩種々ノ忠告アルモ平戸藩論ニ於テハ主従一体堅ク尊攘ノ主義ヲ取リ盛ニ砲臺ヲ築キ海防ヲ努メ為メニ佐賀大村西藩、  
深ルキ有テ其使命ヲ奉セリ

一 慶應三年幕府改權返上ニ依テ勤王ノ清藩京都ニ召サレ藩主ハ十一月ヲ以テ発程、付先ツテ京地ニ向ハシメラレタリ

一 明治元年辰三月伏見戦事ノ際京都ニ在テ本務ヲ整理シ周リ帑及ニ南都ニ出兵セル清藩慰勞ノ使ヲ奉シ又二月二条城 行幸ノ時藩主ニ随ヒ大砲隊ヲ率テ其供奉ヲナセリ

一 同年四月大坂留守居勤王中ニ公議人ニ任セラレ十月ニ至リ上京シ 王師ニ抗衛セシ會津仙臺藩等ノ處刑ニ付テ 聖旨ヲ蒙リ陸テ鄙職ヲ献セリ  
一 明治二年己丑月 朝旨ニ依テ東京ニ移リ集議院ニ出勢ス

一 同年七月藩治職制改革ヲ 仰出タルヲ以テ 帰藩シ十二月上京平戸藩權大参事ノ宣下ヲ蒙ル  
一 同二年午五月各藩ノ公議人參朝仰付ラレ 天顔ヲ拜セリ

一 同年九月藩制ヲ違ヒ至重ノ事件ニ付各帰藩

スヘキ命アリ

一同月集議院に於テ尤ノ如ク賞賜ヲ蒙レリ

當院幹事相効出精致ニ付目錄之通り

(金二千足)下賜也事

九月

集議院

一明治四年未七月廢藩置縣之際ニ縣用ヲ以テ上京ニ

十月長崎縣ヲ置レタルニ付廢職歸村セリ

一同五年申三月長崎縣九等出仕任セラレ五月出仕ヲ

辞ス

一明治六年一月長崎縣才八十一大区(平戸島嶼)区長任

セラレ郡中勸業試学区取締ニ兼務ス

一同年八月徵兵令ノ訛傳ヨリ八十三大区ノ頑民沸騰シ

同不派出ノ縣官ヲ害セントテ竹槍ヲ擲ヘ瓦石ヲ擲テ

戸長役場ヲ破壊シ非常ノ乱暴ヲナシタル末尚益多人

数山野ニ嘯集シ銃器ヲ運ブ等金容易ナラスト報スル

者アリ因テ直ニ該地ニ至テ種々説諭セシ此報亦縣達ニ

縣官出張ノ時ハ既己ニ解散シタルヲ以テ尤ノ如ク賞賜ヲ

蒙レリ

今般ハ十三大区党民ノ儀ニ付モカ鎮靜收束後

奇特ノ事ニ由ル金千足賞賜也事

八月廿七日

長崎縣史

兵頭正懿

一同七年二月汝賀縣不征韓國兩党ノ蜂起スルヤ

其氣焰甚々熾シテテ方ニ向テ暴ル者アリトスル際長崎

縣廳警備ノ為ノ兵士召集ノ縣達アリ當時既ニ

解隊セシ旧藩士卒ヲ上下危疑ノ日暮集スルハ  
を困難ノ事情アリシモ旧藩重役諸隊長等ト密紙  
ヲ書シテ二小队ヲ編成シ之ヲ卒ト申縣ニ至テ其係リ  
官ニ引渡シタリ

一 同年四月區長及々兼啓ヲ禱ス